

平成26年3月31日

明浄学院高等学校

平成26年度 実践目標自己評価結果報告

テーマ	生徒にとって「安全・安心・信頼」の学校運営を目指す
目標（ねらい）	「学校は生徒のためにある」という職員意識の涵養

A：良くあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない

分類	評価の観点	評価項目	実践目標	A	B	C	D
学校運営	教職員連携	教員・教科間連携状況	教員間教科間の互換理解がなされ、信頼関係の基づく教育活動を進める。	38% 18	38% 18	20% 10	4% 2
		会議の有効性	職員会議をはじめ各種会議を有効に機能させる。	36% 17	52% 25	11% 5	0% 1
生徒	生徒支援	学習指導について	学習指導において生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行う。	50% 24	42% 20	8% 4	0% 0
		進路指導について	生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができる支援体制を整える。	42% 20	50% 24	8% 4	0% 0
	生徒指導	生活指導について	生徒の生活指導において、教員の統一した見解を持ち、指導にあたる。	73% 35	25% 12	2% 1	0% 0
		家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携を密に行い。信頼関係を築く。	63% 30	31% 15	6% 3	0% 0
教育	生徒会活動	生徒会活動支援状況	生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できる支援を行う。	73% 35	21% 10	6% 3	0% 0
	その他	部活動	強化クラブを中心に部活動を活発化させ、学校の活性化を図る。	75% 36	23% 11	2% 1	0% 0

学校長所見	<p>本年度の生徒総数は 645 名となり数年来の最高値であり、収支改善に大いに寄与した。「躰・和心・グローバル」を行動指針とし、教育活動・特別活動に取り組んだ。本校は専願率が高く、目的意思が明確で生徒個々のロイヤリティーは大変に高いものがある。部活動が盛んで生徒の通学圏も近畿一圈に及び、地域性が融合し良い効果を発揮している。生徒の気質は華美に走らず質実剛健で他者を思いやる良き伝統が涵養されている。問題行動も皆無に等しく、伸び伸びと学校生活を謳歌している。マスコミを騒がすようないじめ事例は皆無であるが、ソーシャルメディアが起因するいじめ事案には万全の注意を以て望みたい。生徒の満足度と学校における安全安心こそが教育の基本と心得る。</p>
-------	--

平成 27 年 に向けて	<p>「学校は生徒のためにある」という方針をさらに強固なものとするため、スケジュール・サティスファクション・生徒満足を推進する。</p> <p>その一環として生徒による授業評価を導入し、自由記述も含め生徒のニーズをできる限りくみ取り、授業の質を高める一助としたい。</p> <p>育ち盛りの生徒の健康増進の一環として食堂の充実を図る。食の充実は学校の魅力の大きな要素であり、食育に通じるメニューの提供に心掛ける</p>
-----------------	---